

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	国連大学の施設整備			担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者
事業開始年度	平成22年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房国際課		大臣官房国際課長 北山 浩士
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国は「国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定」により、国際連合大学本部施設の構造的破損の予防及び修繕についての責任を有していることから、緊急性や費用を勘案し、修繕の優先度が高い設備の改修工事を行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	国際連合大学本部施設は平成4年度の完成後、30年以上が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。日本政府の責任として、当該施設の設備を適切に更新し、安全な教育研究環境を提供することが必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	当該施設の設備を更新し、安全な教育研究環境を提供するため、更新が必要な施設について緊急度に応じた改修の優先順位を付し、更新を行う。令和2年度以降は空調機器の更新、令和3年度以降は老朽化した煙突の改修、令和4年度以降は非常用自家発電設備の更新に向けた設計及び照明制御システムの更新を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	150
		補正予算(B)	680	916	69.9	196.4	
		令和5年度第1次補正予算				196.4	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	609	680	1,250	69.9	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 680	▲ 1,250	▲ 69.9	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	609	346	1,250	266.3	150	
	執行額(G)		584	163	1,089.6		
	執行率(%) =(G)/(F)		96%	47%	87%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		86%	18%	1559%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	文部科学省施設費			重要政策推進枠 150百万円		
	(目)	施設整備費		150			
	(目)	施設施行庁費					
		その他	-	0			
	計(A)		-	150			

活動内容① (アクティビティ)		国連大学本部施設の安全な教育研究環境の維持に必要な換気機能の向上のために、本部施設内に設置されている老朽化した空調設備の改修を行う。 なお、当初は令和2年度及び令和3年度の2年計画で更新予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により一部の空調機更新に必要な物品が供給されなかったため、実施期間を令和4年度まで延長することとした。そのため、令和4年度の当初見込み件数は、令和3年度の未実施である4機分及び令和3年度補正予算で予算措置された8機分の計12機とした(令和4年度までの合計件数は23機)。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		空調機を更新する。	更新された空調機の数	活動実績	件	－	11	12	－	－
				当初見込み	件	－	15	12	－	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国連大学本部施設の安全性向上を図るために、更新の工事が期間内に適切に完了する必要があるため、更新業務の進捗状況を短期アウトカムとして設定する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		空調機の工事が期間内に完了する	更新業務の進捗状況(%)	成果実績	%	－	47	100	－	
				目標値	%	－	50	100	－	
				達成度	%	－	94	100	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度までに更新を予定している空調機の数に対し、各年度までに更新が完了した件数の割合をもって空調機の更新進捗度とする。 令和3年度：(11/23)×100＝47% 令和4年度：(23/23)×100＝100%								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	老朽化が進む国連大学の本部施設において長期にわたり安定して計画的に改修を行い、国連大学に対して安全な本部施設を維持することが、国際機関に対する日本政府としての責務を果たすこととなるため、改修工事の累計実績数を長期アウトカムとして設定する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		長期にわたり安定して計画的な改修を行う。	改修が完了した施設数(累計数)	成果実績	件	56	57	58		
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		工事の完了をもって根拠データとする。 なお、施設の恒久的な維持・管理に関して、数値目標を設定することはなじまないことから、目標値は設定していない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		国連大学本部施設に設置されている煙突の老朽化が進んでいることから、安全性を確保するため、令和3年度及び令和4年度の2年計画で改修を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		老朽化した煙突を改修する。	改修した煙突の数	活動実績	件	－	－	2	－	－	
				当初見込み	件	－	－	2	－	－	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国連大学本部施設の安全性向上を図るために、更新の工事が期間内に適切に完了する必要があるため、更新業務の進捗状況を短期アウトカムとして設定する。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		煙突改修工事が期間内に完了する	更新業務の進捗状況(%)	成果実績	%	－	9	100	－		
				目標値	%	－	5	100	－		
				達成度	%	－	180	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国際連合大学本部施設の各工事に係る契約額に対する支払額の割合をもって事業執行進捗度とする。 令和3年度:{395,565/(395,565 + 3,740,000)} × 100 = 9% 令和4年度:(3,740,000/3,740,000) × 100＝100%(設計にかかるもの) (489,500,000/489,500,000) × 100＝100%(工事にかかるもの)									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	老朽化が進む国連大学の本部施設において長期にわたり安定して計画的に改修を行い、国連大学に対して安全な本部施設を維持することが、国際機関に対する日本政府としての責務を果たすこととなるため、改修工事の累計実績数を長期アウトカムとして設定する。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		長期にわたり安定して計画的な改修を行う。	改修が完了した施設数(累計数)	成果実績	件	56	57	58	－		
				目標値	－	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		工事の完了をもって根拠データとする。 なお、施設の恒久的な維持・管理に関して、数値目標を設定することはなじまないことから、目標値は設定していない。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容③ (アクティビティ)		国連大学本部施設に設置されている非常用自家発電設備が正常に運転できない状況であることから、停電時においても円滑に電力を供給するため、非常用自家発電設備の改修を行う。 なお、改修のための設計業務について、当初見込みでは令和4年度に完了予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰の影響に伴う備品調達手段の見直し等による工事計画の変更により、令和5年度9月まで延長とした。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		非常用自家発電設備の改修を行う。	非常用自家発電機の改修の 完成	活動実績	件	-	-	0	-	-
				当初見込み	件	-	-	0	1	-
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	非常用自家発電設備の速やかな改修のために、設計及び改修業務が期間内に適切に完了する必要があるため、業務の進捗状況を短期アウトカムとして設定する。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		非常用自家発電設備の改修が期間内に完了する (設計業務の完了をもって進捗率を50%とする。)	業務の進捗状況(%)	成果実績	%	-	-	0	-	
				目標値	%	-	-	50	100	
				達成度	%	-	-	0	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		設計の完了をもって根拠データとする。								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	老朽化が進む国連大学の本部施設において長期にわたり安定して計画的に改修を行い、国連大学に対して安全な本部施設を維持することが、国際機関に対する日本政府としての責務を果たすこととなるため、改修工事の累計実績数を長期アウトカムとして設定する。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		長期にわたり安定して計画的な改修を行う。	改修が完了した施設数(累計数)	成果実績	件	56	57	58	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		工事の完了をもって根拠データとする。 なお、施設の恒久的な維持・管理に関して、数値目標を設定することはなじまないことから、目標値は設定していない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容④ (アクティビティ)		国連大学本部施設に設置されている照明制御システムが老朽化していることから、本部施設の安定性向上を図るため、照明制御システムの改修を行う。 なお、当初見込みでは令和4年度に設計完了予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰の影響に伴う備品調達手段の見直し等による工事計画の変更により、令和5年度まで延長となった。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		照明制御システムを更新する	システムの更新の完了	活動実績	件	-	-	0		-
				当初見込み	件	-	-	1	1	-
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	安定した照明制御による本部施設の安全性向上を図るために、更新の工事が期間内に適切に完了する必要があるため、更新業務の進捗状況を短期アウトカムとして設定する。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		照明制御の更新が期間内に完了する	更新業務の進捗状況(%)	成果実績	%	-	-	0	-	
				目標値	%	-	-	100	100	
				達成度	%	-	-	0	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		工事の完了をもって根拠データとする。								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	老朽化が進む国連大学の本部施設において長期にわたり安定して計画的に改修を行い、国連大学に対して安全な本部施設を維持することが、国際機関に対する日本政府としての責務を果たすこととなるため、改修工事の累計実績数を長期アウトカムとして設定する。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		長期にわたり安定して計画的な改修を行う。	改修が完了した施設数(累計数)	成果実績	件	56	57	58	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		工事の完了をもって根拠データとする。 なお、施設の恒久的な維持・管理に関して、数値目標を設定することはなじまないことから、目標値は設定していない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

文部科学省
1089.6百万円
国連大学の施設整備

施設施行庁費 12百万円

請負【一般競争契約(最低価格)】
A.株式会社総合設備
コンサルタント
8.3百万円
空調設備更新のための
設計費

請負【一般競争契約(最低価格)】
E.株式会社友水設計
3.7百万円
煙突等更新のための
設計費

請負【随意契約(不落・不調)】
F.株式会社イズミ・
コンストラクション
489.5百万円
煙突等更新のための
工事費

請負【その他】
B.五建工業株式会社
334.6百万円
空調設備更新のための
工事費

請負【一般競争契約(総合評価)】
C.温調技研株式会社
212.6百万円

請負【随意契約(その他)】
D.アズビル株式会社
40.9百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
施設施工庁費	株式会社総合設備コンサルタント	8.3	施設整備費	五建工業株式会社	334.6
計		8.3	計		334.6

C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	温調技研株式会社	212.6	施設整備費	アズビル株式会社	40.9
計		212.6	計		40.9

E.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
施設施工庁費	株式会社友水設計	3.7	施設整備費	株式会社イズミ・コンストラクション	489.5
計		3.7	計		489.5

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

